

ヨハネによる福音書で描写されているキリストの増し加わり

聖書：使徒 5:14. ヨハネ 3:29 前半, 30 前半, 31-36. 12:24. 20:17. 17:21-23

I. 召会の増し加わりと開展は、キリストの増し加わりと開展です——ヨハネ 12:24. 使徒 5:14. 9:35. 11:21, 24 :

- A. 主イエスは死を経過して、復活の中へと入り、彼の神聖な命を、彼の中へと信じる者たちの中へと分け与え、彼らが彼の複製となることができるようにしました——I ペテロ 1:3. ヨハネ 3:15. 20:17。
- B. キリストは彼の死と復活を通して、増殖し、増し加わり、開展してきました——使徒 5:14. 11:24。
- C. 召会はキリストのからだであり、キリストご自身でさえあります。ですから、召会は地上でのキリストの増し加わりと開展です——エペソ 1:22-23. 4:4, 16. I コリント 12:12, 27。
- D. 召会は単にキリストを告げ知らせるだけではありません。召会はキリストを増し加え、開展させます——マタイ 28:19. 使徒 1:8。

II. 「花嫁を持つ者は花嫁である。……彼は必ず増し加わる」——ヨハネ 3:29 前半, 30 前半 :

- A. 30 節の増し加わりは 29 節の花嫁であり、花嫁はすべての再生された人々の生ける構成です——3-6 節 :
 - 1. 再生は神聖な命を信者たちの中へともたらすだけでなく、また彼らをキリストの増し加わりのために、団体の花嫁とします——6, 15 節, 29 節前半, 30 節前半 :
 - a. キリストの増し加わりとしての花嫁は、わたしたちの存在の霊的な部分と関係があります——6 節後半。
 - b. わたしたちの再生された人の霊はキリストの増し加わりの一部分であり、この増し加わりはキリストの増殖また複製です。わたしたちは再生を通して、キリストの増し加わりの一部分となりました。
 - 2. キリストは贖われた罪人を再生することによって増し加わり、彼らを彼の花嫁、彼の妻とします。
 - 3. キリストが絶えず増し加わるために、わたしたちは人々と接触し、彼らが再生され、こうして新しい霊の子供を生み出すように助ける必要があります——I コリント 4:14-15. ピレモン 10 節。
- B. 増し加わりつつあるキリストは、計り知れない無制限の神の御子です——ヨハネ 3:31-36 :
 - 1. 彼はそのような計り知れない無限の方であり、上から来て、すべての上におり、御父は彼にすべてを与えており、彼はその霊を限りなく与えます——31 節。
 - 2. そのような方は、彼の花嫁となって彼と符合する、宇宙的な増し加わりを必要とします——29 節前半, 30 節前半。
 - 3. 御子キリストはその霊を限りなく神の民に与えます——34 節 :
 - a. わたしたちが無限のキリストの増し加わりとなる唯一の道は、その霊を受け、

その霊で満たされることです。わたしたちはその霊を持てば持つほど、ますますキリストの増し加わりとなります—— 34 節。

b. この増し加わりはわたしたちの再生をもって始まり、わたしたちが計り知れない霊で満たされることをもって完成します—— 3-6, 34 節。

Ⅲ. 「一粒の麦が地に落ちて死ななければ、それは一粒のままである。しかし、それが死んだなら、多くの実を結ぶ」——ヨハネ 12:24 :

- A. ヨハネによる福音書が啓示しているのは、主イエスが来て神聖な命をわたしたちに分け与え、彼がご自身のために増し加わりを持つということです—— 10:10 後半, 3:15, 29 前半, 30 前半。
- B. 主イエスは地に落ちて死に、彼の神聖な要素、彼の神聖な命を、彼の人性の殻の内側から解き放ち、復活の中で多くの信者たちを生み出しました（Ⅰペテロ 1:3）。それは、一粒の麦が地に落ちることによってその命の要素を解き放ち、地から成長して多くの実を結ぶ、すなわち、多くの麦を生み出すようにです。
- C. この多くの麦は彼の多くの肢体であり、彼の奥義的なからだ、彼の永遠の、無限の増し加わりを構成します——Ⅰコリント 12:12, 27, ヨハネ 3:30。
- D. わたしたちは麦全体のままであるべきではありません。そうではなく、わたしたちは砕かれ、ひかれてきめの細かい小麦粉となり、他の人たちとブレンディングされてパンとなる必要があります。このパンはキリストのからだであり、新エルサレムにおいて究極的に完成します——Ⅰコリント 10:17, 啓 21:2。
- E. ベタニヤでの祝宴の家によって描写された召会生活は、すばらしいものでした——ヨハネ 12:1-11 :
 - 1. それは質が卓越していましたが、量が小さすぎました。
 - 2. ですから、主イエスが命を解き放つ死を遂げ、このような召会生活が復活の中で増殖されることができるようになりました—— 24 節。

Ⅳ. 「わたしの兄弟たちの所へ行って、『わたしはわたしの父、またあなたがたの父、わたしの神、またあなたがたの神へ昇る』と彼らに言いなさい」——ヨハネ 20:17 :

- A. キリストの復活を通して、彼の弟子たちは神聖な命をもって再生されました（Ⅰペテロ 1:3）。この命は、キリストが一粒の麦として死ぬことによって解き放たれていました。
- B. 彼は御父のひとり子、御父の個人的な表現でした。御父のひとり子は彼の死と復活を通して、多くの兄弟たちの間で長子となりました——ヨハネ 1:18, 3:16, ローマ 8:29 :
 - 1. 彼の多くの兄弟たちは神の多くの子たちであり、召会、すなわち御子にある父なる神の団体の表現です。これが神の究極の意図です——ヘブル 2:10-12。
 - 2. 多くの兄弟たちは御父の命の増殖、神聖な命における御子の増殖です。ですから、主の復活の中で、神の永遠の、団体の表現のために多くの子たちを持つという神の永遠の定められた御旨は完成されます——エペソ 1:4-5, 3:9-11。

Ⅴ. 「それは、彼らがすべて一となるためです。父よ、あなたがわたしの中におられ、わたしがあなたの中にいるように、彼らもわたしたちの中にいるためであり、……あなたがわたしに与えてくださった栄光を、わたしは彼らに与えました。それは、わたし

たちが一であるように、彼らも一となるためです。わたしが彼らの中におり、あなたがわたしの中におられるのは、彼らが成就されて一となるためです」——ヨハネ 17:21-23 前半：

- A. わたしたちは、キリストの増し加わりの一、その中ですべての再生された人、妻、兄弟たちが一である一を見る必要があります—— 3:6. 12:24. 20:17。
- B. 三一の神は三ですが、三者は唯一の一の中にあります。これは相互内在の一であり、キリストのからだの一の模範です——エペソ 4:4。
- C. キリストのからだの一、キリストの増し加わりの一は、神聖な三一の拡大された一です——ヨハネ 17:21-23. 14:20. I コリント 12:12。